



大府市における GIGA スクール(GIGA OBU スクール)構想の推進 受験生の受験対策支援

1 GIGA スクール構想の推進

令和元年度末に、文部科学省が高速大容量の校内通信ネットワークの整備及び児童生徒1人1台端末の整備の実現を目指す「GIGA スクール構想」を示しました。

本市では、平成22年度から総務省が実施した「フューチャースクール推進事業」の実証校（全国で10自治体）の指定を受け、4年間にわたり、タブレット端末をはじめとする ICT 機器を利活用した協働学習と児童生徒用のデジタル教科書について研究に取り組みました。そして、平成27年度から小学校3年生から中学校3年生までの児童生徒2人に1台となる3,583台のタブレット端末、全ての教室に電子黒板等と書画カメラを導入し、ICT 教育を推進してきました。同時にプログラミング教育を推進し、本年度、プログラミング教育手引き書「FUN!プログラミング」の発刊も予定しております。

こうした過程を経た上で、「GIGA スクール構想」にある児童生徒1人1台端末の整備を進め、校内に限らず家庭での教育活動にも活用して、効果的な教育の推進を図り、本市の児童生徒が学びに主体的に取り組める環境を整備します。

また、新型コロナウイルス感染症の影響から、今後も災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICT 機器により遠隔授業の実施や各種クラウド型サービスを活用することで、全ての子どもたちの学びを保障できる環境を早急に実現します。

(1) 児童生徒1人1台端末の整備

国庫補助金を活用し、児童生徒用の端末を整備します。今回の補正予算により令和2年度中に小学校4年生以上に1人1台の端末を整備します。小学校3年生まではコンピュータ室や現存するタブレット端末を利活用しながら、キーボード入力を含めた基礎的なリテラシー、協働学習、プログラミング教育を進めます。

(2) 児童生徒1人1台端末で想定する活用方法

今後、クラウド型サービスを活用した家庭での学習、学校と家庭をつなぐツールとしての活用（遠隔授業等）等の1人1台端末の環境における活用を進めます。

(3) 児童生徒分整備台数

令和2年3月補正分	小学校 1,241 台	中学校 607 台	合計 1,848 台
令和2年6月補正分	小学校 2,563 台	中学校 1,164 台	合計 3,727 台

(4) GIGA スクールサポーターの導入

GIGA スクール構想による急速な学校 ICT 化を進める自治体等を支援するため、学校における ICT 環境整備の設計や使用マニュアル（ルール）の作成などを行う ICT 技術者を「GIGA スクールサポーター」として学校へ6名の配置を予定しています。



2 受験生の受験対策支援

本市は、新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休校中、教員の協力を得ながら、中学校3年生を中心に学習動画の配信を行っています。

また、メディアチャンネルとも連携し、サブチャンネルでの放送も行っています。

今後、5月25日から分散で授業を開始し、6月1日から通常の時間帯での学校再開をしますが、学校再開後も新型コロナウイルスの感染は不安視されます。そこで、軽度の体調不良等で登校を見合わせる生徒に対して、学習の遅れが発生しないよう早急に対策を進めます。

(1) 遠隔授業の試行

高校受験を間近に控えた中学校3年生を対象に、登校を見合わせる場合等の対応として、保護者・生徒の希望により、遠隔による授業を試行的に実施し、遠隔授業の参加を可能にすることで、学習の遅れを生じさせず、生徒及び保護者の不安を解消させます。

①試行期間

6月1日(月)～6月12日(金)

②実施方法

テレビ会議システム「Zoom」を利用し、教室で教職員が授業を行う様子を配信し、授業内容に応じて双方向による授業を行います。登校しない場合は、家庭の端末から参加することができます。学校へ登校し、教室以外の場所(特別教室や体育館を想定)から学校内のネットワークを使用し、遠隔で授業に参加することもできます。

※試行結果を踏まえ、今後の遠隔授業の展開について検討してまいります。

(2) 民間のオンライン学習支援サービスの無償提供

6月1日からの学校再開後も授業時間は限られ、特に高校受験を控えた中学校3年生にとっては、学校の授業だけでなく、家庭での学習活動も学力定着のために重要となります。その一助として、民間のオンライン学習支援サービスを無償で提供します。

①提供サービス名

スタディサプリ 株式会社リクルート

②提供内容

主要5教科の授業動画の配信、授業動画の閲覧とあわせた確認テスト等

③提供期間

令和2年7月1日から令和3年3月31日まで

④利用環境

家庭でパソコンやスマートフォンからの利用を想定

10月からは貸与する端末を活用(p4参照)



3 就学援助受給世帯への支援

就学援助受給世帯を対象に、家庭に通信環境や端末を整えていない場合は、学校管理端末と無線通信機器を希望により貸与します。

まずは、前述した受験生の受験対策支援のため、7月から中学校3年生を対象に貸与を開始し、今後 GIGA スクール構想による端末整備にあわせて、対象学年を拡大します。(p4 参照)

①貸与機器 学校の教育用端末及び無線通信機器（ポケットWi-Fiルーター）

②貸与期間 令和3年3月31日（次年度継続については検討中）

※GIGA スクール構想による端末整備にあわせて、対象学年を拡大する予定

4 家庭と学校の関わり方の変革

1人1台の端末が配布され、オンラインで家庭と学校がつながることで、その関わり方に変化が生まれてくると考えられます。そこで、次のような事業を進めていきます。

（1）ドリル学習

クラウド上にあるドリルを用いることで、児童生徒の学びの進捗状況を教員が把握できます。

（2）授業支援システム「ロイロノート」の活用

宿題の配布、欠席の連絡等、校外学習でのレポート作成などに活用できます。

（3）児童生徒用デジタル教科書の活用

本年度、大府小学校で国語・北山小学校で理科の実証をします。実際の活用の見通しは、まだ、先になりますが、実現すると、置き勉の解消の一助となります。

（4）キャリア教育の充実

キャリア教育の推進のため、キャリアパスポートの作成を学校が作成しております。紙媒体を活用するのではなく、クラウド上におくことで、家庭で話し合い、記入したものを卒業するまでの標として残すことができます。

【問い合わせ先】

大府市 教育委員会 学校教育課

担当：鈴木 達見（スズキ タツミ）、坂野 晴仁（バンノ ハルヒト）

電話：0562-46-3332

F A X：0562-44-0020

E-mail：gakkyo@city.obu.lg.jp

タブレットを活用した遠隔授業の実施及び受験生の受験対策の支援 全体スケジュール

時期	実施内容	遠隔授業	受験対策	利用システム	説明
6月1日～12日	中学校3年生を対象にした遠隔授業の試行	●	●	テレビ会議システム「Zoom」	教室で教職員が授業を行う様子を配信。機器は、家庭の端末等を利用することを前提とするが、環境がない生徒は、学校へ登校し、教室以外の場所から校内LANを使用し、遠隔で授業に参加
6月～8月	GIGAスクール構想による令和元年度分の端末整備				令和元年度に措置した小5・6、中1分の端末の整備(小1,241台、中607台) 納入予定時期: 令和2年8月末
7月～	家庭への通信環境の支援	●	●		インターネット環境が整備されていない家庭への通信機器(Wi-Fiルーター等)の支援制度の創設(6月補正予算計上)
9月～	小学校6年生、中学校3年生へ1人1台端末の配布				
10月～	小学校6年生、中学校3年生を対象とした家庭への端末持ち帰り実施	●		テレビ会議システム「Zoom」 授業支援システム「ロイノート」	再度感染症が拡大した場合の臨時休校に対応し、受験を控えた児童生徒の授業が継続できるよう整備する。
9月～12月	GIGAスクール構想による令和2年度分の端末整備		●	クラウド型学習用ドリル	クラウド型学習用ドリルを活用し、児童生徒自身の進度にあわせた学習の支援を行う。
1月～	小学校4・5年生、中学校1・2年生へ1人1台端末の配布	●			令和2年度に措置するした小1～4、中2・3分の端末の整備(小2,563台、中1,164台) 納入予定時期: 令和2年12月末
2月～	小学校4・5年生、中学校1・2年生を対象とした家庭への端末持ち帰り実施	●		テレビ会議システム「Zoom」 授業支援システム「ロイノート」	再度感染症が拡大した場合の臨時休校に対応し、受験を控えた児童生徒の授業が継続できるよう整備する。